

☆放課後子ども教室☆

降り積もった雪の上。子どもたちが走り回った足跡や、雪だるまを作ろうとしたのか、大きな雪玉がグラウンドのそこそこに見当たります。大人にとっては厄介な雪も、子どもたちにとっては最高の遊び道具です。季節ならではの雪遊びを、今シーズンも楽しんでいきたいと思います。

11月後半の放課後子ども教室では、昨年も好評だったリンゴのおやつ作りや、模造紙いっぱいに絵を描くラクガキ大会、身近な素材を使った入浴剤作りなどを行いました。リンゴのおやつ作りでは、バターと砂糖で煮たリンゴを、餃子の皮で包んで揚げるホットアップルパイを作りました。揚げたてのアップルパイを一口かじると、甘酸っぱいリンゴの香りが広がります。熱いけど美味しい！とほお張る顔には笑みが浮かび、みんなあつという間に平らげてしまいました。ラクガキ大会では、最大で8枚の模造紙をつないだ大きな紙に、サインペンや色鉛筆、クレヨンなどで絵を描きました。特にテーマは決めず、子どもたちは好きなものを好きなように描き進めました。キャラクターの写し絵をする子もいれば、ダイナミックに虹や花火の絵を描く子もいます。大きな紙に絵を描くといっても、八つ切りの画用紙くらいが最大で、これほど大きな紙をキャンバスに描いたことはない、と子どもたちが楽しそうに筆を走らせていました。疲れた体を癒やし、シュワシュワと出るあわが楽しい入浴剤。実は、薬局やホームセンターなどで手に入る材料で、簡単に作ることができます。材料となる重曹、クエン酸、片栗粉の他、香りづけに入れる精油を数種類用意しました。精油が入った小瓶のふたを開けると、ラベンダーやかんきつ系の良い匂いがして、それだけで子どもたちもうっとり。どれにしようか決められず、何度も小瓶の周りを行ったり来たりする子どもたちが、とてもかわいらしかったです。



12月前半の活動では、子どもたちが自分たちでやりたい遊びを選び、実施に向けて準備をし、実際にやってみる『遊び会議』というプログラムを行いました。普段、メインの活動内容はスタッフが企画・準備を行い実施していますが、遊び会議ではその部分を子どもたちに担当してもらいます。ろうやオニ、こおりオニ、ユニホック（室内ホッケー）、サッカー、バスケットボール、キックベースなどたくさんの企画が形になりました。いくつかのグループに分かれ、みんなで出来ること、みんなが楽しめるなどを念頭に置いたルール、チームを決める方法などを話し合いました。そして、みんなの前に立って遊びの内容や、考えたルールを説明します。一見、簡単なことのように見えますが、子どもたちは、自分の頭の中にあることを、相手に伝える難しさを感じていたようです。

